

守ろう！世界農業遺産「大崎耕土」豊かな自然

積極的活用と侵略的外来種の防除による里山・里地生態系保全

シナイモツゴとゼニタナゴなどの絶滅危惧種が100年以上にわたり繁殖し生息する旧品井沼周辺のため池 撮影:久保田

タガイに産卵するゼニタナゴ 撮影:秦

倒木に産み付けた卵を守るシナイモツゴ 撮影:秦

2018年10月20日(土) 会場:宮城県大崎合同庁舎(宮城県大崎市古川旭4丁目)

第1部 世界農業遺産「大崎耕土」指定と地域ぐるみの生態系保全活動 9:45～12:00

【世界農業遺産がめざすもの 世界農業遺産指定と今後の展開】

世界農業遺産認定と今後の展開 武元将忠(大崎市産業経済部)

【豊かな自然を復元し長期保全するための取り組み】

世界農業遺産「大崎耕土」における生態系保全活動の役割 岩淵成紀(田んぼ)

里山・里地水辺の自然を復元し活用する 高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

【次世代への継承をめざす自然再生活動】

シナイモツゴを復元した里親小学校の取り組み 安住芳朗(シナイモツゴ郷の会)

小学生による里地の小川生き物観察会 久保田龍二(シナイモツゴ郷の会)

【自由討論】

座長:佐藤弘樹(シナイモツゴ郷の会)

第2部 ポスター発表 展示発表 12:30～14:00

【生き物ブランド米で豊かな自然を守り続ける農業者の活動】

シナイモツゴ郷の米でシナイモツゴを守る

吉田千代志(シナイモツゴ郷の米づくり手の会)

ふゆみずたんぼ米で渡り鳥と共生する 西沢誠弘(たじり穂波公社)

【水辺環境の変化と生き物たちの盛衰】

消えた天然池沼-品井沼など仙台平野の干拓事業

三浦仁一(シナイモツゴ郷の会)

霞ヶ浦周辺の貝塚調査から見た太古の魚類相

阿部きよ子(穴塚の自然と歴史の会)

手賀沼におけるニホンウナギの盛衰 半沢裕子(手賀沼水生研)

品井沼明治大正期の漁業と現在の魚 鈴木光太郎(シナイモツゴ郷の会)

【豊かな自然を守る新技術と成果】

アメリカザリガニ連続捕獲装置の改良 高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニ繁殖阻止ツールの開発 長谷川政智(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニの特産品化をめざして 坂本 啓(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニを防除した池で復元したゼニタナゴ

秦泰之(シナイモツゴ郷の会)

洞爺湖におけるウチダザリガニの防除と効果

室田欣弘(UWクリーンレイク洞爺湖)

魚の産卵・生育場を復元する水田魚道 三塚牧夫(ナマズのがっこう)

洪水防止水田の「多機能落水枡」の改良 根元信一(東北興商)

【自由課題(一般募集中)】

第3部 水辺の侵略的外来種の防除と成果

【国家戦略】

侵略的外来種防除の国家戦略 北橋義明(環境省)

【侵略的外来種防除の歴史と展望】

侵略的外来種防除と生態系保全 細谷和海(近畿大学・魚類学会会長)

ブラックバス防除の歴史 小林光(全国ブラックバス防除市民ネットワーク事務局長)

【アメリカザリガニの防除と効果】

アメリカザリガニ連続捕獲装置による捕獲と効果 高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニ繁殖の抑制 長谷川政智・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

連続捕獲装置を用いたアメリカザリガニ低密度化の検討

～金沢市夕日寺健民自然園(トンボ池)での事例 工藤秀平(金沢大)他4名

～都立光が丘公園池(東京)での事例 佐藤方博(生態工房、東京都)

第4部 総合討論

座長:半沢裕子(手賀沼水生研)・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

主催:水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会(NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう)

後援:大崎市、大崎市教育委員会、JAみどりの、東洋ゴムグループ環境保護基金

＜問い合わせ先:シナイモツゴ郷の会 MAIL:kiyotaka-toto*ktf.biglobe.ne.jp、TEL:090-4043-3692＞